

1. [2010 早稲田大]

底面が正六角形  $ABCDEF$  で頂点が  $O$  の正六角錐  $O-ABCDEF$  がある。底面の辺の長さを  $a$ ,  $OA=OB=OC=OD=OE=OF=2a$  とする。  
2つの面  $\triangle OAB$  と  $\triangle OBC$  のなす角を  $\theta$  とするとき、 $\cos \theta$  を求めよ。

2. [2017 京都大]

$\triangle ABC$  は鋭角三角形であり、 $\angle A = \frac{\pi}{3}$  であるとする。また  $\triangle ABC$  の外接円の半径は 1 であるとする。

- (1)  $\triangle ABC$  の内心を  $P$  とするとき、 $\angle BPC$  を求めよ。
- (2)  $\triangle ABC$  の内接円の半径  $r$  のとりうる値の範囲を求めよ。

3. [2017 北海道大]

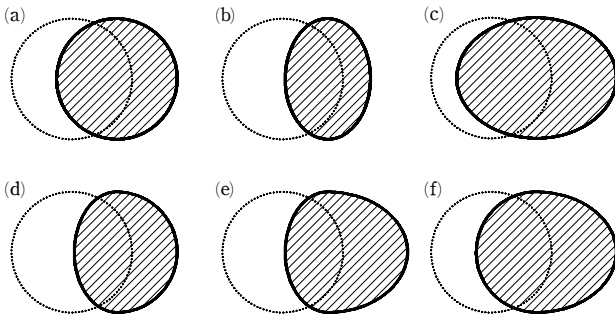
3辺の長さが 5, 6, 7 の三角形を  $T$  とする。

- (1)  $T$  の面積を求めよ。
- (2)  $T$  を底面とする高さ 4 の直三角柱の内部に含まれる球の半径の最大値を求めよ。ただし、直三角柱とは、すべての側面が底面と垂直であるような三角柱である。

4. [2017 広島大]

ある晴れた日、長さ 120 cm の棒を地面に対して垂直に立てたところ、地面にできた棒の影の長さは 90 cm であった。太陽光線はすべて平行であると仮定して、次の問いに答えよ。ただし、地面は水平であり、棒の太さおよび太陽の動きは考えないものとする。

- (1) この時刻における、太陽光線と地面がなす角度  $\theta$  を求めよ。ただし、 $0^\circ \leq \theta \leq 90^\circ$  とする。単位は度 ( $^\circ$ ) を使い、小数点以下を切り捨てて整数で答えよ。必要ならば三角関数表を用いてもよい。
- (2) 長さ 120 cm の棒の一方の先端を地面の定点  $A$  に固定し、常に棒が地面と  $60^\circ$  の角度をなすようにして、可能な限り棒を動かした。このとき、地面にできた棒の影の先端が描く軌跡はどのような図形であるか。たとえば、「 $A$  から 60 cm 離れた点を中心とする、半径  $30\sqrt{2}$  cm の円」のように、言葉を用いて答えよ。
- (3) 地面の上に直径 60 cm の球を置いた。このとき、地面にできた球の影はどのような形であるか。次の (a)~(f) のうちから、最も適切なもの一つ選べ。ただし、点線は真上から見た球の位置を表している。



- (4) (3) のとき、地面にできた球の影の面積を求めよ。ただし、円周率は  $\pi$  を用いよ。

5. [2012 一橋大]

1つの角が  $120^\circ$  の三角形がある。この三角形の3辺の長さ  $x, y, z$  は  $x < y < z$  を満たす整数である。

- (1)  $x + y - z = 2$  を満たす  $x, y, z$  の組をすべて求めよ。
- (2)  $x + y - z = 3$  を満たす  $x, y, z$  の組をすべて求めよ。
- (3)  $a, b$  を 0 以上の整数とする。 $x + y - z = 2^a 3^b$  を満たす  $x, y, z$  の組の個数を  $a$  と  $b$  の式で表せ。

6. [2005 旭川医科大]

三角形  $ABC$  の各辺  $AB, BC, CA$  上に点  $P, Q, R$  を

$$\frac{AP}{AB} + \frac{BQ}{BC} + \frac{CR}{CA} = t \quad (0 < t < 3)$$

を満たすようにとる。また、三角形  $ABC$  の面積を  $S$  とする。

- (1)  $\frac{AP}{AB} = x, \frac{CR}{CA} = z$  とおくと、三角形  $APR$  の面積は、 $x(1-z)S$  で表されることを示せ。
- (2) 三角形  $PQR$  の面積の最大値を  $M(t)$  とする。 $M(t)$  を求めよ。
- (3)  $M(t)$  の最小値を求めよ。また、そのときの点  $P, Q, R$  は各辺  $AB, BC, CA$  上のどのような点であるか。

7. [2008 慶応義塾大]

3辺の長さが相異なる自然数である三角形について考える。この三角形の3辺の長さを  $a, b, c$  ( $a < b < c$ ) とし、三角形の周の長さを  $l$  とする。また、三角形の面積を  $S$  とする。

- (1) この三角形の最も大きい角の大きさを  $\theta$  とするとき、 $\cos \theta$  の値を  $a, b, c$  を用いて表せ。
- (2) 上の (1) を利用して、次の関係式が成り立つことを示せ。  
$$16S^2 = l(l-2a)(l-2b)(l-2c)$$
- (3)  $S$  が自然数であるとき、 $l$  は偶数であることを示せ。
- (4)  $S=6$  となる組  $(a, b, c)$  を求めよ。
- (5)  $S$  の値が互いに異なる2つの素数の積になるのは、 $S=6$  の場合に限ることを示せ。